

今月の御教え

今は学問の世の中で、理屈はよく言うようになったけれども、天地と神との恩義をしないで知らないようになってしまったから、難儀がしだいに多くなっている。

……「天地は語る」第七十一条……

解説 日本が明治の代となり、文明開化の名のもと、国を挙げて欧米先進国の

知識学問を取り入れ、自然現象などが科学的に世によく知られるようになる、わが国民は、その新知識に驚嘆するあまり、今までの「お日様、お天道様」との天地自然への畏敬の念や自然との共生の思いが次第に失われていきました。

この御理解は、その天地の恩恵を忘れた私達人間の今日の化石燃料乱用等による地球温暖化に代表される地球的規模の自然破壊に至る過程を予測された金光大神様が、その危惧を日本国民、ひいては世界人類に對して警鐘をならされたと思わされる御教えであります。